

# 音羽屋のサービス お仏壇のことならお任せください!

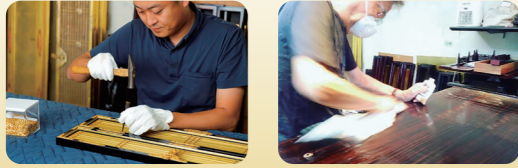
## ◆修復 (洗浄・塗替え)

お仏壇は修復して引継いでいくように作られています。状態に合わせて修復していますので40年~50年は次の修復の必要はありません。



## ◆修理・磨き・清掃

部分的な修理や汚れを磨き落します。お仏具や数珠などの修理も承ります。



## ◆移動・引越・保管

ご実家からご自宅へお引越し。2階から1階への移動。リフォームや改築中の保管も承ります。



## ◆新調・処分・リメイク

お仏壇やお仏具の販売もしております。不要になったお仏壇の引取りも承ります。また、全てを処分するのではなく、ご本尊様をリメイクして引き継ぐという方法もご提案しています。



お仏壇以外でもお気軽にご相談ください!

## ◆修復実績 (2022年時点)

### ◆お仏壇 作業実績800件



金仏壇修復前 修復後 唐木仏壇修復前 修復後

### ◆銅像 実績13件

大和ミュージアム様、(株)ミットヨ様、広島市信用組合様、(株)北川鉄工所様といった企業にある銅像を文化財保存の技法で修復致します。



(株)ミットヨ様銅像修復

大和ミュージアム様ポセイドン像の修復

### ◆寺院 実績13件

内陣修復、仏具修復、移設、山号額などを修復致します。



◀欄間修復  
▼欄間

お内仏修復

不動明王修復

### ◆その他 おみこし実績6基

家具、仏具、数珠、掛軸、額装などを修復致します。



◆お仏壇の修理・掃除・洗浄・塗替え・買換え・移動・保管・処分 ◆お仏具・お数珠・寺院関連・おみこし・掛軸などの修復



◆広島県全域対応  
◆出張お見積り無料



広島市中区舟入南3丁目13-1 FAX 082-942-0526

仏壇 音羽屋 検索

〈お問合せ〉受付/午前8:00~午後7:00 TEL 082-231-3721

今回の「南無レター」はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想をどしどしお寄せください。ご連絡用LINEからメッセージを頂けると嬉しいです!

こちらからどうぞ



お仏壇には“生きる秘訣”がいっぱい

初号

2022年11月発行

仏教大好き職人がお届けする

# まごころ南無レター

こんにちは! 広島でお仏壇のことなら「音羽屋」の山縣です。音羽屋では、まごころこめたお仏壇の修復をとおして「仏教のおしえ」で生きるヒントを「ご先祖の想い」で生きるチカラをイキイキしたブツダンライフをお届けしています! この度、ニュースレターを発行することになりました。今回は私たちのことをご紹介します。次回以降もぜひ、ご愛読ください。



当店は「お仏壇の修復」を中心としたお仕事をしています。この仕事への想いのあるエピソードでお話しさせていただきます。

お仏壇が綺麗になって家に戻ってきたことで、家族の中でよみがえるエピソード。

それは僕が大阪にいるときに西宮市のお客さまへ納品をした時の話です。西宮とは甲子園球場がある町です。いわゆる「本家」といわれていて、和室の襖を外すと大広間になる部屋がある家でした。この時は、おじいさまの50回忌をきっかけに仏壇修復のご依頼を頂きました。納品当日はお嫁さんとお孫さんが立ち会ってくださいました。綺麗になったお仏壇を前に、おじいちゃんの思い出ばなしが始まりました。

そのエピソードの中に「わが家が大切にしていること」が語られていました。この時まで僕の仕事はお仏壇を修復することだけと捉えていました。しかし、お仏壇の姿がよみがえることで、わが家が大切にすることもよみがえった瞬間に立ち会った時、お仏壇はその家らしさに気づける場所なんだと気付きました。それは、この仕事を自分の生まれた広島でやりたいと思った出来事でもありました。

おじいちゃんも明治生まれの方でも厳しい方だったそうです。特に食事の作法にうるさかったとのこと。お箸の持ち方、食べる



人が亡くなった後、伝わっていくのはその人の生き方です。次の世代に伝えられることは故人とのエピソードではないでしょうか?

これからもお仏壇を美しくよみがえらせることで、より多くの家のその家らしさをよみがえらせていきたいです。

ちなみに... 西宮のお客さまのお話しには続きがありました。食事に厳しかったおじいちゃんは、お酒がお好きだったそうです。親戚中が集まったある年のお正月。酔っぱらったおじいちゃんは、白い箸置きをかまぼこと間違えてパクッと食べてしまい、歯が折れて大変だったそうです。

というのを笑いながら話しておられる皆さんが、とても印象的でした。イイ話しにも必ずオチがつく関西ならではの「お歯なし」でした。



時の口の音、肘をつかないなど。ちょっとでも間違えば、孫だろうが誰だろうが、すぐに叩かれていたそうです。おじいちゃんに何度も叩かれた経験があるお孫さん。就職して上司と食事に行った時のこと。

「君は食事の仕方がとても綺麗だね。きっと、食べ物を大切に育てたんだろうね」と、褒められたんだそうです。その時に、なぜおじいちゃんが厳しかったのかが分かった気がしたと仰ってられました。



お歯なし



